

あらい歯科新聞



冬号

全身の健康と生命を おびやかす歯周病

「病気は口から始まっていた！」
「歯周病と全身疾患の関係とは!？」



近年、こういったテーマを掲げるTV番組をよく見るようになりました。実はここ10年ほど、**お口と体の関係**についての医学的研究が進んでいるのです。インペリアル・カレッジ・ロンドンのドミニク博士らは、2008年に次の論文を発表しています。



「喫煙、その他のリスク要因を考慮したうえで、歯周病は肺や腎臓、すい臓、血液のガンのリスク増大と大きな関連性があった」



まさか、歯周病がガンを引き起こす原因になっているなんて……。実はこのほかにも、歯周病が発症の引き金となっている疾患があります。

歯周病を患っている人の歯ぐきには、歯周病菌が潜んでいます。この歯周病菌は、さまざまな経路を通して体内へ……

1: 飲み込むことで胃や肺へ
歯ぐきのなかに潜んでいるということは、もちろん唾液中にも存在します。飲み込んで消化器官へ入り込むと、**胃炎や肺炎**を起こす原因になります。

2: 血液に乗って全身へ
歯周病を患って赤く腫れた歯ぐきは、いわゆるただれた状態。つまり傷口です。全体的に腫れてしまっている場合、その総面積はなんと手のひらサイズだそう！炎症を起こした傷口に歯周病菌がふれると、**血液に乗って体内へ吸収されていきます**。そのまま全身に運ばれ、さまざまな場所で悪さをします。

歯ぐきのケアは、体を守るのに必要!

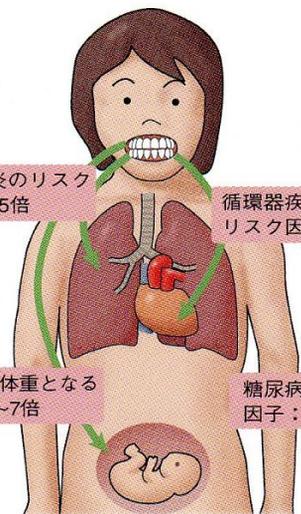
歯周病菌は、毎日歯ブラシやデンタルフロスで歯を掃除したり、定期的に歯科衛生士にお掃除してもらうことで数を減らすことができます。 院長 荒井

誤嚥性肺炎のリスク
因子：2～5倍

循環器疾患の
リスク因子：2倍

出生時に低体重となる
危険性：4～7倍

糖尿病のリスク
因子：2～4倍



◆◆ブログ更新中◆◆

あらいいい歯ドットコム
<http://arai118.com>



◆◆好評開催中◆◆

- ▶かもめクラブ(2才児対象)
- ▶親子セミナー(保護者・妊婦さん対象)

詳しくは別紙チラシにて♪

